

広報活動

県民が、疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に関する正しい知識を得て、健診・検査を受けるなどの適切な疾病予防行動に繋げることを目的とした普及啓発事業を実施した。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防及びメンタルヘルスに関する知識の啓発のために、県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら各種メディアやSNSの活用、イベントの開催・参加などによる普及啓発活動を展開した。なお、令和6年度は新たにAMラジオでのコマーシャルの放送を行った。

1] 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 結核・呼吸器感染症予防週間運動の実施（9月24日から30日）

1) 県や市町及び学校等にポスターやパンフレットを配付し、結核や呼吸器感染症の予防に関する普及啓発を行った。

- ・ポスター 920部
- ・パンフレット 13,100部

2) 県内のマスメディアやSNSを活用した普及啓発を行った。

- | | | | |
|------|--------------|--------|-----------|
| ・テレビ | 45秒告知 | 1種 10回 | (とちぎテレビ) |
| ・ラジオ | 20秒告知(※) | 1種 14回 | (エフエム栃木) |
| | 90秒告知 | 1種 5回 | (エフエム栃木) |
| | 20秒告知 | 1種 14回 | (CRT栃木放送) |
| | 80秒告知 | 1種 6回 | (CRT栃木放送) |
| | 生ワイド出演 | 1種 1回 | (CRT栃木放送) |
| ・新聞 | 半3段モノクロ告知 | 1種 1回 | (下野新聞) |
| | 栃木版半3段モノクロ告知 | 1種 1回 | (読売新聞) |
| ・SNS | X投稿 | 1種 3回 | |

(※) 当事業団の職員による収録・放送

3) 9月24日から30日まで栃木県庁昭和館にて、結核予防のシンボルカラーである“赤色”のライトアップを栃木県感染症対策課との共催で初めて実施した。

(2) 複十字シール運動の実施

1) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール運動」に協力し、8月から12月まで募金活動を実施した。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資材の作成・調査研究に役立てられる。

- ・令和6年度募金額 1,397,903円

2) 結核などの胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」の開始にあたっての栃木県知事への表敬訪問を7月30日に実施した。栃木県結核予防婦人連絡協議会(栃木県地域婦人連絡協議会)との合同で、結核の現状報告並びに複十字シール運動への協力を依頼した。

3) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした「街頭キャンペーン」を実施した。栃木県結核予防婦人連絡協議会(栃木県地域婦人連絡協議会)との共催で、9月23日に宇都宮オリオン通り商店街東武駅

前アーケードにて募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配布などを行った。

2] がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

1) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施した。県や市町等のほか、県内の教育機関にがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付し、がん予防に関する普及啓発を行った。

- ・ポスター2種（がん征圧、禁煙 各1,200部） 計2,400部
- ・リーフレット2種（がん検診：4,000部、女性のがんと健康：4,000部） 計8,000部
- ・冊子（がんを知ろう） 2,300部

2) がん検診に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、がん征圧運動を周知した。

- ・テレビ 45秒告知 1種 20回（とちぎテレビ）
- ・ラジオ 90秒告知 2種 10回（エフエム栃木）
- ・新聞 折込紙見開き1/2フルカラー告知 1種 1回（下野新聞折込紙「アスポ」）
- 栃木版半3段 モノクロ告知 1種 1回（読売新聞）
- ・SNS X投稿 1種 2回
- Xプロモツイート 1種 1月
- ・立て看板（とちぎ健康の森エントランスに設置）1ヵ所

3) がん対策運動のシンボルカラーとして有名な乳がんの“ピンク色”のライトアップを、9月1日から10日に宇都宮タワー（八幡山公園）で実施したほか、10月1日から10日まで栃木県健康増進課との共催で栃木県庁昭和館のライトアップを実施した。

4) がんに関する正しい知識の普及とがん検診の啓発を目的とした「街頭キャンペーン」を9月7日に実施し募金活動やパネルの展示、リーフレットやグッズの配布などを行った。今年度は実施場所を、オリオン通り商店街からJR宇都宮駅東西連絡自由通路に変更し、幅広い世代への啓発活動を行った。

(2) がん征圧募金運動の実施

1) がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を9月から12月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行った。

この募金は、がん征圧の普及啓発活動に役立てられる。

- ・令和6年度募金額 2,623,911円

2) がん征圧募金に関する内容についてSNSを活用し告知掲載を行った。

- ・SNS X投稿 1種 1回

(3) 県内プロスポーツ試合での普及啓発

乳がんを中心としたがんに関する正しい知識の普及とがん検診の受診率向上を目的とした「とちぎ de ピンクリボン」イベントを男子プロバスケットボールリーグ（Bリーグ）の宇都宮ブルックス主催試合の冠スポンサーとなり、11月2日、ブルックスアリーナ宇都宮で行った。乳がんに関する資料配付やパネル展示、場内アナウンスや大型ビジョン等を活用して乳がんをはじめとしたがん検診の普及啓発を行った。また、新たな試みとして、事業団公式Xのフォロー＆リポスのキャンペーンを実施した。

(4) がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とボランティアによる地元実行委員会が主催する、がん患者並びにその家族と支援者のためのチャリティーイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2024とちぎ」(9月14日～15日：壬生町総合公園陸上競技場)が開催され、事務局として参画した。

また、当事業団はルミナリエに協力したほか、リレーウォークにも参加した。

(5) その他の主ながん検診受診率向上への取組

厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、がん検診受診率向上のための啓発活動を行った。

・テレビ	45秒告知	3種 40回	(とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	2種 28回	(エフエム栃木)
	90秒告知	2種 10回	(エフエム栃木)
・新聞	半3段モノクロ告知	2種 2回	(下野新聞)
	栃木版半3段モノクロ告知	1種 1回	(読売新聞)
・SNS	X投稿	5種 8回	

(※) 当事業団の職員による収録・放送

3] 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行った。

(1) 禁煙週間(5月31日から6月6日)の普及活動

1) 禁煙に関するポスターの配付と展示を行った。

・禁煙ポスター(配付) 280部

(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア・食品環境検査所・事業団打合せコーナー

2) 禁煙週間に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行った。

・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回	

(2) 栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間(11月1日から30日)

1) 県から提供を受けた普及啓発ポスターやリーフレットの配布を行い、糖尿病予防と重症化防止のための啓発活動を行った。

・世界糖尿病デーポスター(展示) とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

・リーフレット(配布) 4種 計320部、とちぎ健康の森エントランス・人間ドックフロア

2) 糖尿病予防に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し普及啓発を行った。

・テレビ	45秒告知	1種 10回	(とちぎテレビ)
・新聞	1面突き出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	1種 1回	

(3) 生活習慣病等予防の普及活動

生活習慣病予防やメンタルヘルス対策に関する内容について県内のマスメディアやSNSを活用し、健診・検査の受診率向上を図った。

・テレビ	45秒告知	2種 20回	(とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	4種 56回	(エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	13種 14回	

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(4) 生活環境に関する普及活動

1) 食品衛生月間(8月1日から31日)に併せ、手洗いの励行や食品の温度管理等とハサップに関する内容について、県内のマスメディアやSNSを活用し意識の向上と知識の普及を図った。

・テレビ	45秒告知	1種 10回	(とちぎテレビ)
・ラジオ	20秒告知(※)	2種 28回	(エフエム栃木)
・新聞	1面突出しフルカラー告知	1種 1回	(下野新聞)
・SNS	X投稿	3種 3回	

(※) 当事業団の職員による収録・放送

2) 県内のマスメディアを活用して、簡易専用水道検査の受検勧奨を行った。

・ラジオ	20秒告知(※)	1種 14回	(エフエム栃木)
------	----------	--------	----------

(※) 当事業団の職員による収録・放送

(5) 関係機関等との連携・協力による普及活動

1) 県や市町及び民間団体等で実施される健康関連イベントなどに協力し、パネル展示やリーフレット・啓発グッズの配布・提供を行うなど、健診・検査の重要性について普及啓発を行った。

- ・とちぎ健康の森健康づくりDay(社会福祉法人とちぎ健康福祉協会：とちぎ健康の森6月2日)禁煙、肺がんに関するポスターの掲示、普及啓発グッズの配布
- ・市町及び事業所の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供(5市町)ノベルティ7種 計1,630個

2) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配付した。

・複十字誌(公益財団法人結核予防会)	2,742部
・健康の輪(公益社団法人全国結核予防婦人団体連絡協議会)	243部
・対がん協会報(公益財団法人日本対がん協会)	7,501部
・予防医学ジャーナル(公益財団法人予防医学事業中央会)	180部

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査を受診することが非常に重要であることから、ホームページやSNS、定期情報誌を通じて健診・検査の意義や効果を啓発する事業を実施し、受診率の向上を図った。

1] ホームページ・SNSの活用

事業内容や採用情報など当事業団の情報や、調査・研究事業から得た情報を掲示するほか、健診・検査の基礎知識や生活習慣病、食品の取扱いについてなど、県民の健康・保持増進に役立つ情報を配信した。

2] 定期情報誌の発行

- 1) 健康や環境に関する最新情報や健診・検査の重要性の解説、当事業団が行う各種事業の取組状況などを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行した。県や受診団体、医療機関、全国の関係団体などに配付したほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開した。
- 2) 食品検査及び腸内細菌検査事業の内容と生活環境に関する関心を高めるとともに、ノロウイルス等の予防について周知する広報誌「アシスト Assist」を年3回、各3,000部発行した。食品検査の受検事業者や県内の関係団体に配付したほか、とちぎ健康の森の人間ドックフロアにも配置し、ホームページでも公開した。

3] 看板等を利用した普及啓発

- 1) JR宇都宮駅改札前通路の電飾看板に生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための看板を年間を通して掲出した。
- 2) 栃木県本庁舎エレベーター内の壁面に生活習慣病及びがん検診に関する普及啓発のための看板を年間を通して掲出した。
- 3) 新しい広報媒体として、JR宇都宮駅東口エリアのデジタルサイネージに、生活習慣病及びがん検診に関する啓発動画を掲出した。
がん征圧月間（9月1日～30日）、乳がん月間（10月1日～31日）、栃木県糖尿病予防・重症化防止強化月間（11月1日～30日）